

世界最高の現代音楽集団 きらめ EICの煌きを音楽堂で聴く

ONGAKUDO HERITAGE CONCERT

音楽堂ヘリテージ・コンサート



©EIC

Ensemble intercontemporain

アンサンブル・アンテルコンタンポラン

2021年8月29日 日 15:00開演 / 14:30開場

Sunday, 29 August 2021, 3:00pm

神奈川県立音楽堂

Kanagawa Prefectural Music Hall

PROGRAM

ジェラルド・グリゼイ:2つのバスドラムのための「石碑」

Gérard GRISEY, Stèle, pour deux grosses caisses

アンナ・ソルヴァルズドットイル:Hrím(霜)

Anna Thorvaldsdottir, Hrim, for ensemble

ジェルジ・リゲティ:13人の器楽奏者のための室内協奏曲

György Ligeti, Concerto de chambre, for thirteen instrumentalists

ピエール・ブーレーズ:アンセム1(無伴奏ヴァイオリンのための)

Pierre Boulez, Anthèmes 1, for violin

一柳慧:室内交響曲「タイム・カレント」

Toshi Ichiyanagi, Symphony for chamber orchestra "Time Current"

ミケル・ウルキーザ:さえずる鳥たちとふりかえるフクロウ

Mikel Urquiza, Oiseaux gazouillants et hibou qui se retourne, for ensemble

*当初発表曲から一部曲目と曲順が変更となりました。何卒ご了承ください。

TICKET

全席指定 S席:4,000円 | A席:3,500円

シルバー:3,500円(65歳以上) | U24:2,000円(24歳以下)

高校生以下:無料(要事前予約/引取り方法により手数料がかかります)

車椅子(S席):4,000円(付添1席無料)

お得なヘリテージ・コンサートセット券も発売中!

チケットかながわ TEL 0570-015-415 (10:00~18:00)

インターネット

[チケットかながわ](#) [検索](#)

窓口

神奈川県立音楽堂 (13:00~17:00 / 月曜休)

神奈川県立ホール・KAAT神奈川芸術劇場
(10:00~18:00)

神奈川芸術協会

TEL 045-453-5080

(平日10:00~18:00/土10:00~15:00/日・祝休業)

チケットぴあ

<https://t.pia.jp> TEL 0570-02-9999

Pコード:196-545

イープラス

<https://eplus.jp>

ローソンチケット <https://l-tike.com> Lコード:31604

*セット券、U24、高校生、車椅子席は枚数限定、チケットかながわのみで取り扱い

*シルバーは枚数限定、チケットかながわと神奈川芸術協会のみで取り扱い

*未就学児の入場はご遠慮ください(託児サービスについては音楽堂へお問い合わせください)

主催:神奈川県立音楽堂【指定管理者:公益財団法人神奈川芸術文化財団】

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)独立行政法人日本芸術文化振興会

後援:在日フランス大使館/アンスティチュ・フランス パリ本部

協力・共同招聘:サントリーホール/水戸芸術館





究極の中途半端が 炸裂させるモダニズム

沼野雄司

1976年。パリでひとつの現代音楽アンサンブルが誕生した。仕掛け人は、20世紀の現代音楽界を代表する知性、ピエール・ブーレーズ。彼が目論んだのは、「室内楽」と「オーケストラ」という二極の中間で、どちらにでも対応できる精鋭たちによる演奏団体を作ることだった。

実に中途半端なサイズ。しかし、時には1人で3人分の力を発揮し、時には3人が1人のようにふるまいながら、この団体は音楽史の新しいページを次々に開拓していった。現在にいたるまで次々に設立されることになる「現代音楽アンサンブル」の草分けにして最高峰、それがアンサンブル・アンテルコンタンポランだ。

音楽におけるモダニズムの究極を体現するこの団体が、この夏、横浜に上陸する。奇しくも場所は、日本のモダニズム建築を代表するホール、神奈川県立音楽堂。ちなみにもうひとつ、面白い符号がある。この音楽堂、座席数が1,054席、すなわち大ホールでも小ホールでもない、中途半端なサイズなのだ。中途半端とモダニズム。とてつもないケミストリーの予感がするではないか。

曲目が実に刺激的だ。創立者ブーレーズ、怪人リゲティ、スペクトル王グリゼイ、日本が誇る一柳慧、そしてアンテルコンタンポランが強く推薦する若手二人。彼らが書いた、このアンサンブルのための音楽が8月29日、音楽堂で炸裂する。あとは我々が目撃するだけだ。

アンサンブル・アンテルコンタンポラン

Ensemble intercontemporain

アンサンブル・アンテルコンタンポラン(以下EIC)は、1976年ピエール・ブーレーズが、当時の文化大臣、ミシェル・ギー、著名な芸術支援者ニコラス・スノーマンの協働と支援を受けて設立した「ソリストたちのアンサンブル」である。31人のメンバーは全員がソリストとしての優れた力量と活動実績を持ち、20〜21世紀の音楽への情熱を共有している。メンバーは恒久的な契約で雇用され、アンサンブルの主要な目的である若い音楽家や一般の聴衆のための演奏、そして新しい音楽の創造、教育活動に携わっている。現代を代表する作曲家の一人である、音楽監督、マティアス・ピンチャーの芸術的指導の下、作曲家と緊密に協力し、楽器演奏の技術を徹底して探求する一方、さらに音楽、ダンス、演劇、映画、ビデオ、視覚芸術と連携したプロジェクトを開発している。EICは、フランス国立音響音楽研究所IRCAMと共同で、合成音の生成の分野でも活躍している。一部の作品は、パリ市長財団の支援を受け、定期的に新しい作品への委嘱と発表が行われている。フランス政府文化通信省、パリ市議会から資金提供と支援を受け、シテ・ドゥ・ラ・ムジーク・フィルハーモニー・ド・パリを本拠地に、フランス国内外で演奏と録音を行い、世界中の主要なフェスティバルに参加する、フランスを代表するアンサンブルである。<https://www.ensembleintercontemporain.com/>



マティアス・ピンチャー 音楽監督・指揮
Matthias Pintscher, music director, conductor

ドイツ出身の作曲家、指揮者、教育者。20代前半で作曲家として頭角を現す。アンサンブル・アンテルコンタンポランの音楽監督に就任した2013年前後から指揮活動を本格化させ、世界各地のオーケストラを指揮、若手音楽家の教育にも携わる。40代にして「第二のブーレーズ」(ル・モンド紙)と評されたピンチャーが展開する多角的で国際的な活動は、世界の音楽界の注目を集めている。1999年、『エロディアド断章』がクリスティーン・シェーフアールとアバド指揮ベルリン・フィルによって初演される。同年にKAÏROSから発売された管弦楽作品集のCDはドイツ国外でも高く評価され、前年にはザクセン州立歌劇場で初のオペラ『トーマス・チャタートン』が初演されるなど、20代の間に作曲家としての地歩を築いた。指揮者としてのデビューは1994年、自作のムジークテアター『ひびの入った鐘』の初演(ベルリン州立歌劇場)である。クレーヴランド管弦楽団などで自作を含む同時代の作品を指揮。2013年にブーレーズによってEICの音楽監督に任命されて以降、同団体に加えて欧米・オーストラリアの数々のオーケストラに客演し、2016〜18年にはルツェルン・フェスティバル・アカデミーの首席指揮者を務めた。古典派から現代に至る広範なレパートリーを手がけるが、近年はオペラにも取り組む。2019年にウィーン国立歌劇場でオルガ・ノイグハルトの話題作『オーランド』(世界初演)、2020年12月にはベルリン州立歌劇場でワーグナー『ローエングリン』を指揮するなど、存命の作曲家兼指揮者としてホルガー、エトヴェシュ、サロネンに匹敵する存在となつてつある。[平野貴俊・一部抜粋]

音楽堂公演出演予定メンバー



Jeanne-Marie Conquer
violin, EIC soloist



Diégo Tosi
violin

John Stulz
viola



Éric-Maria Couturier
cello

Nicolas Crosse
contrabass



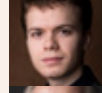
Sophie Cherrier
flute

Emmanuelle Ophèle
flute



Philippe Grauvogel
oboe

Paul Riveaux
bassoon



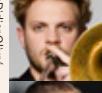
Martin Adámek
clarinet

Jérôme Comte
clarinet



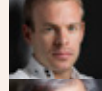
Jens McManama
horn

Lucas Lipari-Mayer
trumpet



Jules Boittin
trombone

Valeria Kafelnikov
harp



Gilles Durot
percussion

Samuel Favre
percussion



Dimitri Vassilakis
piano

Sébastien Richard
piano

©Franck Ferville

音楽堂
ヘリテージ・コンサート
特設サイト

QRコード

音楽堂ヘリテージ・コンサートお得なセット券発売中!

- ① 8/29[日]アンサンブル・アンテルコンタンポラン ● 年間セット券(全5公演) 34,000円(←37,500円)
- ② 9/18[土]ブラハ・フィルハーモニア管弦楽団 ● アンサンブルセット券(①②③) 23,500円(←26,000円)
- ③ 9/26[日]イ・ムジチ合奏団 ● ピアノセット券(④⑤) 10,500円(←11,500円)
- ④ 11/27[土]ミハイル・ブレトニョフ(ピアノ)
- ⑤ 12/24[金]ゲルハルト・オピッツ(ピアノ)

お申込み: チケットかながわ TEL 0570-015-415 (10:00~18:00)

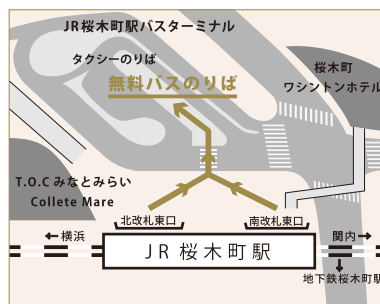
*セット券は枚数限定、チケットかながわのみで取り扱い



木のホール 神奈川県立音楽堂

〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘9-2
TEL.045-263-2567
<https://www.kanagawa-ongakudo.com/>

- JR「桜木町」駅(南改札西口、北改札西口)
- 市営地下鉄「桜木町」駅(南1番出口)から徒歩10分
- 京浜急行「日ノ出町」駅から徒歩13分
- みなとみらい線「みなとみらい」駅から徒歩20分



開場・開演前に無料シャトルバス運行

8月29日[日]出発時間

① 13:55 ② 14:10 ③ 14:25 ④ 14:40

※運賃無料/予約不要/当日先着順

タクシー降車場より発車

「神奈川県立音楽堂」掲示の貸切バス

※神奈川県立音楽堂では感染症専門家の指導、会場の換気能力等に鑑み新型コロナウイルス感染症予防策に取り組み、座席配置等を決定しております。最新情報を音楽堂オフィシャルサイト等で確認の上ご来場くださいますようお願いいたします。
※やむを得ず公演中止や出演者、曲目等の変更が生じる場合があります。

Facebook: 神奈川県立音楽堂 Twitter: @Kana_Ongakudo